

患者の皆様へ

平成 29 年 11 月 27 日
糖尿病・代謝・内分泌内科

現在、千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科では、「リアルタイム持続血糖測定データを用いた周術期血糖管理リスクエンジンの開発」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当科かかりつけの患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「リアルタイム持続血糖測定データを用いた周術期血糖管理リスクエンジンの開発」

2. 研究の意義・目的

周術期血糖管理を要した症例に関し、カルテの情報をもとに周術期血糖管理と関係する背景因子（糖尿病病型、合併症、原疾患、手術術式、麻酔方法、通常の血糖管理方法、術前の血糖管理状態、周術期血糖管理方法、インスリン使用量など）と入院日数、短期・長期予後（死亡、感染など）、低血糖発症、有害事象、在院日数などの結果との関係を解析し、周術期の高血糖・低血糖および予後不良となる予測因子を明らかにすることが目標です。

3. 研究の方法

千葉大学病院で過去 5 年間、通院または入院し、手術前後で血糖管理を行った患者さんの診療録に記載されている糖尿病病型、合併症、原疾患、手術術式、麻酔方法、通常の血糖管理方法、術前の血糖管理状態、周術期血糖管理方法、インスリン使用量など）と入院日数、短期・長期予後（死亡、感染など）、低血糖発症、有害事象、在院日数などと照らし合わせることで周術期の高血糖・低血糖および予後不良となる予測因子を明らかにします。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は匿名化し、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データは、千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学代謝教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

* 文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
医師 越坂 理也

043 (222) 7171 内線 6678
(糖尿病・代謝・内分泌内科外来受付)